

特別企画 : 愛知県のパチンコ関連企業の実態調査

パチンコホール経営、4割が2期連続の減収 ～ 部品製造、卸ともに減収が4割を超える ～

はじめに

名古屋が“発祥の地”ともいわれるパチンコ産業。庶民の娯楽として高い人気を誇ってきたが、風営法の改正による射幸性の高い機種締め出しのほか、趣味や娯楽の多様化が進んだことで若者を中心にパチンコ離れが加速、業界を取り巻く環境は厳しさを増している。一昨年から昨年にかけて、部品メーカーの大型倒産が相次いだのは一つの証左と言えるだろう。また、IR法（統合型リゾート整備推進法）が成立し、カジノ開設が現実味を帯びてきたことでパチンコ業界にどのような影響が及ぶのか、注目される場所である。

帝国データバンク名古屋支店では、愛知県内に本社を置くパチンコホール経営のほか、遊技機・部品製造や卸売を主業とする企業について、調査・分析を行った。

※対象企業は、企業概要データベース「COSMOS2」(146万社収録)から「パチンコホール」(179社)、「その他の事務用・サービス用・民生用機械器具製造」(79社)「パチンコ・娯楽機械・同付属部品卸」(96社)を主業とし、愛知県内に本社を置く企業を抽出。判明している最新3期分の決算数値を用いた。

調査結果（要旨）

1. 愛知県に本社を置くパチンコホール経営業者 179 社の最新期の合計収入高は 1 兆 8607 億 5600 万円となり、前期比で 1.3%（242 億 2300 万円）の減少。また、最新期まで 2 期連続減収となった企業は 80 社で全体の 44.7%を占めた。
2. 遊技機・同部品製造を主業とする 79 社の最新期の合計売上高は 5077 億 3500 万円、前期比で 5.3%（282 億 7400 万円）の減少。2 期連続の減収で 2 期前からは 11.8%（679 億 700 万円）の減少となった。また、最新期が減収となった企業は 33 社（構成比 41.8%）。
3. 「パチンコ・娯楽機械・同付属部品卸」を主業とする 96 社の最新期の合計売上高は 3567 億 3000 万円、前期比 9.4%（307 億 3100 万円）の増加となったが、2 期前（4504 億 3800 万円）との比較では 20.8%（937 億 800 万円）の大幅減収となった。また、最新期が減収となった企業は 41 社（構成比 42.7%）。

1. パチンコホール経営業者、2 期連続減収が 4 割を超える

愛知県内に本社を置くパチンコホール経営を主業とする 179 社について、最新期の合計収入高は 1 兆 8607 億 5600 万円となり、前期比 1.3%（242 億 2300 万円）の減少となった。2 期前と 1 期前との比較でも 1.7%（320 億 7600 万円）の減少となっており、合計収入高は 2 期連続の減収となった（表 1）。

表1 年収入高合計の推移 単位:百万円

2期前	1期前	前期比	最新期	前期比
1,917,055	1,884,979	▲1.7%	1,860,756	▲1.3%

内訳を見ると、前の期は 28 社（構成比 15.6%）だった増収企業数が、最新期では 22 社（同 12.3%）に減少した。減収企業は前の期の 111 社（同 62.0%）から 100 社（同 55.9%）に減少している。また、最新期まで 2 期連続減収となった企業は 80 社で全体の 44.7%を占めており、業界全体の収入高が微減となったのに対して社数では減収企業は圧倒的に多く、一部の大手業者の業績は堅調であるのに対して、中小業者は苦境を強いられているという構図が、パチンコホール業界でも鮮明になっている。

表2 増収・減収企業数 (社)

前期増収	構成比	最新期増収	構成比
28	15.6%	22	12.3%

前期減収	構成比	最新期減収	構成比
111	62.0%	100	55.9%

2期連続増収	構成比	2期連続減収	構成比
10	5.6%	80	44.7%

パチンコホール経営業者を規模別で見ると、年収入高「10～100 億円未満」が 88 社で構成比 49.4%、従業員別では「10～100 人未満」が 101 社で同 56.4%となり、それぞれ最多となった。一方で、年収入高「1000 億円以上」は 1 社、従業員「1000 人以上」はゼロとなり、中規模事業者が多数を占めている。

表3 年収入高別

年収入高	社数	構成比
1億円未満	2	1.1%
1～10億円未満	44	24.7%
10～100億円未満	88	49.4%
100～1000億円未満	43	24.2%
1000億円以上	1	0.6%
合計	178	100.0%

表4 従業員別

従業員数別	社数	構成比
ゼロ	6	3.4%
1～10人未満	46	25.7%
10～100人未満	101	56.4%
100～1000人未満	26	14.5%
合計	179	100.0%

* 1 社未詳(2016 年 10 月設立のため)

主なパチンコホール経営業者は表5のとおり。善都は「ZENT」の屋号で展開、近年は郊外を中心に大型店舗を出店するなど業績を伸ばしている。コロナはパチンコホールを中核とする複合レジャー施設「コロナワールド」で名を知られている。立岩は「がちゃぼん」の店舗名で北海道から鹿児島まで全国展開している。

表5 主なパチンコホール経営業者			単位:百万円
商号	所在地	決算年月	年収入高
(株)善都	豊田市	2015年12月	202,006
(株)コロナワールド	小牧市	2016年7月	90,571
(株)立岩	豊橋市	2016年7月	76,522
(株)ダイハチ	瀬戸市	2016年6月	75,267
夢コーポレーション(株)	豊橋市	2016年3月	72,569
(株)真城	名古屋市東区	2016年7月	63,800
(株)玉越	名古屋市守山区	2016年2月	50,531
(株)TRY&TRUST	名古屋市中川区	2016年3月	40,484
(株)京楽	名古屋市天白区	2015年12月	36,600

パチンコホール経営業者の都道府県別社数（上位10都道府県）は表6のとおり。「愛知県」は179社で東京都・大阪府に次いで全国3位。因みに、東海地区では「岐阜県」（43社）が18位、「三重県」（16社）が38位となっている。

表6 都道府県別社数			
順位	都道府県	社数	構成比
1	東京都	259	10.2%
2	大阪府	209	8.2%
3	愛知県	179	7.0%
4	神奈川県	154	6.1%
5	北海道	139	5.5%
6	埼玉県	108	4.3%
7	広島県	96	3.8%
8	兵庫県	94	3.7%
9	福岡県	80	3.1%
10	千葉県	77	3.0%

2. 遊技機・部品メーカー、合計売上高は2期連続減収

愛知県内に本社を置く遊技機・同部品製造を主業とする79社について、最新期の合計売上高は5077億3500万円となり、前期比で5.3%（282億7400万円）の減少となった。2期連続の減少となり、2期前からは11.8%（679億700万円）の減少となった（表7）。

表7 年売上高合計の推移			単位:百万円	
2期前	1期前	前期比	最新期	前期比
575,642	536,009	▲6.9%	507,735	▲5.3%

内訳を見ると、前の期は 30 社（構成比 38.0%）だった増収企業数は最新期では 32 社（同 40.5%）と若干の増加。減収企業は前の期の 34 社（同 43.0%）から 33 社（同 41.8%）と若干の減少。また、最新期まで 2 期連続増収となった企業は 12 社で全体の 15.2%、2 期連続減収となった企業は 13 社で 16.5%。

持ち前の高い技術力を生かして、パチンコ部品以外の精密機械製造等を新たに始めている企業も散見され、パチンコホール経営者と同様、事業の多角化が今後に向けたキーワードのひとつとなっている。

表8 増収・減収企業数 (社)

前期増収	構成比	最新期増収	構成比
30	38.0%	32	40.5%

前期減収	構成比	最新期減収	構成比
34	43.0%	33	41.8%

2期連続増収	構成比	2期連続減収	構成比
12	15.2%	13	16.5%

表9 主な遊技機・同部品製造業者

単位:百万円

商号	所在地	決算年月	年売上高
(株)三洋物産	名古屋市千種区	2016年8月	101,851
(株)サンセイアールアンドディ	名古屋市中区	2016年3月	100,000
(株)ニューギン	名古屋市中村区	2015年12月	70,000
京楽産業.(株)	名古屋市天白区	2016年6月	33,964
(株)EXCITE	名古屋市中村区	2015年12月	20,000
(株)高尾	名古屋市中川区	2016年3月	16,095
オムロンアミューズメント(株)	一宮市	2016年3月	14,650
(株)大一商会	北名古屋市	2016年3月	12,600
(株)サンスリー	名古屋市千種区	2015年12月	11,100
(株)浅間製作所	名古屋市瑞穂区	2016年3月	11,000

主な遊技機・同部品製造業者は表9のとおり。三洋物産は「SANYO」ブランドで展開し、『CR海物語』シリーズの人気は根強い。サンセイアールアンドディは『牙狼』シリーズなどのヒット作を生み出し業績を伸ばしている。ニューギンは『花の慶次』シリーズで知られるほかリユース生産にもいち早く取り組んでいる。

3. パチンコ製品卸業者、合計売上高は2期前から2割減

愛知県内に本社を置く「パチンコ・娯楽機械・同付属部品卸」を主業とする 96 社について、最新期の合計売上高は 3567 億 3000 万円、前期比 9.4%（307 億 3100 万円）の増加。ただし、有力機種のリリース時期が延び、売上への計上が繰り越しとなった 1 社が増収の要因であり、それを除くと 2 期前（4504 億 3800 万円）からは 20.8%（937 億 800 万円）の大幅な減収となった（表 10）。

表10 年売上高合計の推移 単位:百万円

2期前	1期前	前期比	最新期	前期比
450,438	325,999	▲27.6%	356,730	9.4%

内訳を見ると、前の期は 31 社（構成比 32.3%）だった増収企業数が最新期では 25 社（同 26.0%）に減少した一方、減収企業は前の期の 38 社（同 39.6%）から最新期は 41 社（同 42.7%）と増加した。また、最新期まで 2 期連続増収となった企業は 11 社で全体の 11.5%、2 期連続減収となった企業は 19 社で 19.8%だった。

表11 増収・減収企業数 (社)

前期増収	構成比	最新期増収	構成比
31	32.3%	25	26.0%
前期減収	構成比	最新期減収	構成比
38	39.6%	41	42.7%
2期連続増収	構成比	2期連続減収	構成比
11	11.5%	19	19.8%

表12 主なパチンコ・娯楽機械・同付属部品卸業者 単位:百万円

商号	所在地	決算年月	年売上高
(株)三洋販売	名古屋市千種区	2016年8月	123,509
(株)ニューギン販売	名古屋市中村区	2015年12月	95,000
(株)三洋商事	名古屋市千種区	2016年4月	58,600
(株)ブラザーエンタープライズ	名古屋市瑞穂区	2016年3月	8,465
(株)三宝商会	名古屋市中川区	2016年5月	6,301
(株)フジコム	名古屋市瑞穂区	2016年5月	4,555
(株)共栄商会	名古屋市中村区	2016年9月	4,150
(株)サンエステイト	名古屋市東区	2015年11月	3,895
三高(有)	名古屋市中川区	2015年12月	2,231

主なパチンコ・娯楽機械・同付属部品卸業者は表 12 のとおり。三洋販売は三洋物産の、ニューギン販売はニューギンの、それぞれ販売部門として全国のパチンコホールにパチンコ台・パチスロ台を販売している。三洋商事は三洋物産向けのパチンコ台製造部品卸を主力としている。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 名古屋支店 担当:中森、猿渡
TEL 052-561-4846 FAX 052-586-5774

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。